

おわりに

今回の提言は、兵庫県、神戸市をはじめ被災された市町村が復興計画を立案するにあたり、都市基盤施設あるいはシステムに関して参考となるメニューを取りそろえたものである。復興が復旧にとどまらず、また、防災性の確保は重要であるが、平時への配慮あるいは、より広い意味での都市環境整備が十分に図られるよう祈念するものである。本提案を含め、復興計画の実現に向けて、従来の制度及び今回の特別立法に基づく諸制度が、最大限活用されるべきであることは言うまでもない。住民の合意形成、財政上の措置を始め、復興過程において既存の枠を超えた制度上の措置が的確かつ迅速に講じられる必要がある。

また、我々土木学会・土木計画学研究委員会のメンバーも今回の地震ならびに災害を真摯に受けとめ、特別委員会を設けて被災記録保存のための調査を行っている。更に今後とも、息の長い調査・研究を行い、将来の都市づくり、基盤整備に貢献する努力を行っていく決意である。なお、現地の種々の状況下における実際的な必要性に応じて、全国の本委員会関係者は可能な限りの支援体制をとる用意があることを述べ、謹んで本提言を締めくくりたい。

平成7年3月

土木学会・土木計画学研究委員会 委員長

黒川 洸

謝 辞

本提言は、前掲のメンバーに加えて以下に挙げる人たちの自発的な協力によって実現した。厚く御礼を申しあげたい。

岡本直久 (東京工業大学助手)
佐野可寸志 (東京大学助手)
浜岡秀勝 (東京工業大学助手)

石丸浩司 (東京大学工学部及び大学院学生)	宅間 朗 (同上)
岡村敏之 (同上)	内藤智樹 (同上)
加藤浩徳 (同上)	中村勇吾 (同上)
上西周子 (同上)	三島大輔 (同上)
新屋千樹 (同上)	村木康行 (同上)

阿部智久 (東京工業大学大学院学生)	高田和幸 (同上)
小川圭一 (同上)	西村 徹 (同上)
清水哲夫 (同上)	福山恵夫 (同上)

(五十音順、敬称略)